

学校関係者評価を実施した主な評価項目	・校内見学及び授業参観への参加 ・令和５年度学校概要 ・各部（小学部、中学部、高等部）の教育について ・学校運営上の諸課題について ・令和５年度学校評価アンケート結果について
自己評価結果について	「指導方法の工夫」「通知表・連絡帳の活用」「安全・安心な教育環境整備」の項目で高い評価をいただいた。教職員が各学習グループの中で個を大切にした授業を工夫して行い、その様子を連絡帳や通知表をとおして伝えようと努力した点、安全点検をきちんと行い、危険があった場合は直ちに必要な処置をとるようにしてきた点が高い評価につながったと思われる。 しかし、「センター的機能の充実」「進路情報等の提供」「関係機関との連携の取組」「保護者のニーズを取り入れたＰＴＡ活動」の項目は、本年度から取り入れた選択肢「分からない」に回答する方が多かったり、「よく当てはまる」の回答が他の項目と比較して少なかったりした。
今後の改善方策について	・センター的機能の充実、関係機関との連携の取組については、本年度のＰＴＡ総会の場で、本校が行っている要請訪問相談や障害乳幼児相談について説明し、地域支援において本校が果たす役割を伝えるようにした。次年度はこのような機会に加えて、学校だよりやホームページ等でも積極的に紹介していきたい。 ・進路情報等の提供については、本年度のＰＴＡ総会時に進路指導の概要説明をしたり、各部対象の進路懇談会において進路指導主事から情報提供したりして、進路について保護者に考えていただく機会を設けた。保護者が知りたい進路情報を提供するためにも、年齢に応じたキャリア教育に関する職員研修の実施や進路情報コーナーの設置等を検討していきたい。 ・保護者のニーズを取り入れたＰＴＡ活動は、高い評価をつけた方も多かったが、「分からない」に回答した方も多かった。広報を意識して行い、さらに保護者から理解を得られるようにしたい。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	・本年度の学校評価から「分からない」の評価項目をつくったことで、より保護者の思いをくみ取ることができるようになり、よかった。「分からない」が多かった質問項目は、保護者への伝え方を工夫して行ってほしい。 ・卒業後や親亡き後、どうしたらよいか分からない保護者も多い。関係機関とのつながりを深め、連携して公的支援をしていくとともに、ライフステージを見通して学校で何ができるかを追求し、卒業後を意識した学習や取組をして行ってほしい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	学校関係者評価委員会の構成 … 学校評議員６名、校長、教頭、総括事務長、部主事 評価時期 … 学校評価計画（５月下旬） ・年間評価（２月下旬）